

# テーマ：BCP策定を通じた信用力向上

## タイトル：連携事業継続力強化計画の策定により 認知度向上



### ポイント

- 連携事業継続力強化計画の策定により、組合の課題であった認知度が向上
- 職員の安全を最優先に、職員が命を守る行動ができるよう、計画に明文化

### BCP策定のきっかけ

- 同組合は、延岡市からごみやし尿の収集運搬業務を受託するほか、清掃工場の運転管理も実施。
- 延岡市内は、過去何度も洪水被害があった地域のため、独自で地震・津波といった災害の対応マニュアルを作成していた。
- そのような中、延岡駅周辺で竜巻・突風の被害が発生したため、地震や津波に限らず、自然災害発生時の幅広いマニュアルを検討することにした。同組合は、生活に欠かせない業務を市から委託されているため、その使命感も後押し。

### BCP策定時の課題と解決方法

- 宮崎県中小企業団体中央会に課題の洗い出しを相談。その結果、地域における面的な組合間連携により計画の策定に取り組むことで、信用力の高い組織であることを内外に明示できる良い機会と捉え、廃棄物処理を主事業とする近隣の2事業協同組合と業務補完ができる内容を盛り込んだ事業継続力強化計画の連携型を策定することにした。なお、3つの組合は、役員の方々が重複して就任しており、各々の事業活動の状況を共有していたことも連携して取り組めた要因。
- 組合という組織形態のため、通常のように、社長の「鶴の一声」で決まる訳ではなく、総会での意思決定が必要となるため、総会での合意が得られるようスケジュール管理を徹底。
- 延岡市からの業務委託を受けているため、延岡市が策定している「災害廃棄物処理計画」との齟齬が無いように注意する必要もあった。

### 策定した内容

- 家族を含む職員の安全を最優先事項とした。以前は連絡網を使って安否確認を行っていたが、被災時には電話が繋がらないこともあるため、Yahoo!安否確認サービスを導入した。

#### 【組合概要】

組合名：延岡地区環境整備事業協同組合

所在：宮崎県延岡市小野町4138-1

出資金：300万円

従業員数：92名

業種：事業協同組合

組合HP：-

- 物品の共用や人員の融通について明文化した。
- 防災訓練は3組合の合同訓練とし、四半期に1回の割合で実施。
- 延岡市の災害情報や避難場所が確認できる市独自の防災アプリを職員にインストールさせている。
- PCのデータベースを事務所内に置いていたが、火災等でPCと一緒に被害にあう可能性を考慮し、全てクラウド化した。毎日自動でバックアップを取るため、職員の負担につながらない。
- コロナ対応に関する規定も設け、消毒の徹底や感染者が組合内で発生した際、職員を融通し合い、業務を滞らせることなく行えるようにしている。

### BCP策定後の効果

- 事業継続力強化計画の組合間連携による認定は、全国初だったこともあって、新聞や中央会が発行する冊子にも取り上げられ、認知度向上に繋がった。また、策定後に延岡市長への表敬訪問など行政へのアピールもできた。
- 被災時に社用車を置いて逃げるのに躊躇するケースもあるが、明文化することにより職員が躊躇なく逃げるができるようになる。
- 災害時、事務局PC等の電源確保のため発電機を購入した。定期的に発電機の使用についてテストを行っている。



組合の外観



発電機

### 活用施策

- 連携事業継続力強化計画

# テーマ：BCP策定を通じた信用力向上（二度目の取材）

## ～更なるBCP策定後の効果と新たに着手している取り組み～

### BCPを活用できた出来事

#### ●コロナ禍での対応

既存の連携事業継続力強化計画及び組合間協定では自然災害対応を想定しており、感染症については明記していなかったが、コロナ禍では本協定を応用して対応。組合間で人員の融通を行うことで、コロナにより人員不足に陥った組合を手助けできた。これがきっかけで、コロナ対応マニュアルや組合間協定の内容見直しも行った。

#### ●事業者間の交流

社外でも組合同士の交流が進んでおり、レクリエーション活動も実施。連携事業継続力強化計画に取り組んだことがきっかけで、より組合間の交流が活性化しお互いの業務理解にもつながっている。

### 連携事業継続力強化計画の策定を通じた派生效果

#### ●健康経営への取り組み

連携事業継続力強化計画の策定の狙いとして、組合の社会的信用力が向上し就職先として注目を集め優秀な人材確保につながることもあった。一方で、現在勤務している職員の離職を防ぐことも同じ人材確保という意味で重要であると考え、宮崎県中小企業団体中央会の助言で、職員の健康維持増進により生産性を向上する『健康経営』に着手し、職員の満足度向上を図っている。

『健康経営』の取り組みとして、「健康宣言事業」に参加し健康認定優良法人を目指すほか、健康診断オプション費用の助成や特定保健指導対象者に指導を受けるよう要請し、定期診断を充実させる取り組みを行っている。

また、日頃から健康に心がけてもらうように、延岡市が行っている「のべおか健康マイレージアプリ」と連携し、事業所独自のポイントを付与。同アプリでは歩数を記録することができ、各種イベントへの参加や歩数に応じて延岡市内の買物で使用できるポイントを付与している。事業所から独自にポイントを付与することにより、職員の更なる健康への取り組みを積極的に応援。

他には、AEDの設置やストレスチェックも行っている。



のべおか健康マイレージアプリ

### 今後取り組んでいきたいこと

#### ●職員へのアンケートによる職場改善

責任者レベルの職員が中心となり、職場改善アンケートを実施。これをきっかけに、要望として挙げた「賃金や手当の見直し」、「責任者を増員する等の体制の見直し」等を実施。今後もアンケートを行い、職場改善に着手していきたいと考えている。

### BCP策定、組合間連携強化の歩み

2018年9月 組合の問題意識・課題について  
ヒアリング

2020年  
6～7月 3組合間の相互協定締結  
連携事業継続力強化計画認定  
※認定期間3年

2020年  
10月 コロナ対応マニュアル作成

2023年  
2～8月 協定の災害時通信手段見直し  
2回目の連携事業継続力強化  
計画認定

2024年  
7月 災害時対応マニュアルに  
土砂災害等を追加

### 支援機関の声

#### <宮崎県中小企業団体中央会>

連携組織の形成支援、中小企業の経営に関する相談  
対応など幅広い支援を行っている支援機関

#### ◎今回、支援を担当された増井さんのお話

・BCP策定支援の経験を元に、BCP策定の独自マニュアルを作成。事業者へヒアリングした内容をこのマニュアルに落とし込み、BCP策定の支援を行っている。

・公的機関の施策紹介に加え、民間企業の取り組みも含め幅広く情報提供することを心がけている。

「『謙虚さをもって相談相手の状況を理解しようと努めること、足繁く通うこと』が地域を支える中小企業の皆様への支援に必要な姿勢だと考えています。」



中小企業団体中央会  
増井 一人さん